

こしがや能楽堂だより

平成 29 年 8 月号



【こしがや能楽堂 8月の主な催し物】

催物名	開催日	内容
親子紙芝居教室 ～描いて演じてみよう～	8月26日(土)、27日(日) 10:00～12:00	紙芝居の作成、演じ方のイロハと実演、講師の模範演技など 講師：紙芝居師「ランタマ」、大江戸ヤッサン一座



これが能です

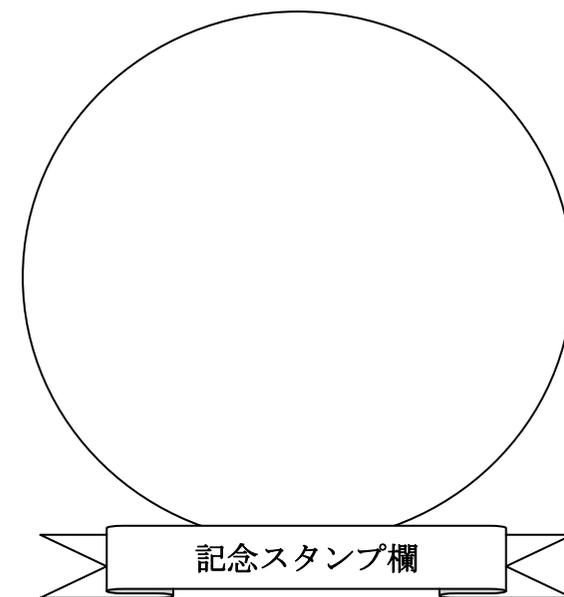
能の舞台写真を見ると、どれも同じような印象を受けるかもしれない。なぜ同じように見えてしまうかというと、能には共通して出演者の役割や位置などに定められた様式があり、それに従って演じられるからです。

登場人物はシテ（主役）、ワキ（シテの相手役）、ツレ（シテ、ワキの助演者）でシテは必ず一人。ワキやツレは登場しない演目もある。役柄によって装束や面が異なるが、面をつけない（直面）役柄もあり、ワキは面をつけることがない。一般的に舞台右端には地謡6～8名、舞台奥には3、4名の囃子が座し、いずれも登場人物ではないため紋付袴姿。また、演目によって途中で狂言の役者が登場することがあり、間狂言と呼ぶ。

シテ、ツレ、後見、地謡を「シテ方」が、ワキ、ワキツレを「ワキ方」が、笛、小鼓、大鼓、太鼓を「囃子方」がそれぞれ担当するほか、アイは狂言を演ずる「狂言方」が担当する。現在、興行主・演出家・出演者の役を兼ねるシテ方には5つの流儀（観世、宝生、金春、金剛、喜多）があり、流儀によって謡や節回し、扮装、演出などが少しずつ異なる。

参考図書：柘出版社「ニッポンの伝統芸能」

こしがや薪能 9月10日(火) 午後6時開演 ・能楽講座 ・狂言(文荷) ・能(竹生島)



- ◇ 住所：越谷市花田六丁目6番地1
- ◇ 電話：048-964-8700
- ◇ FAX：048-964-8622
- ◇ ホームページアドレス <http://nohgakudou.koshi-kannri.com/>
- ◇ 開館時間：午前9時～午後9時30分
- ◇ 休館日：毎週水曜日（祝日にあたる時は、その翌日）
年未年始（12月29日～1月3日）
- ◇ 能楽堂の見学は無料です。

こしがや能楽堂

検索

交 通 機 関	
東武スカイツリーライン・地下鉄日比谷線・半蔵門線・JR 武蔵野線	
新越谷駅・南越谷駅	越谷駅
北口から	東口（北側ロータリー）から
花田行き又は市立図書館行き	花田循環又は市立図書館行き
花田苑入口下車	花田苑入口下車